

令和8年度 第1回 国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会

日 時 令和8年7月29日（水）午前10時00分～
場 所 市役所会議室 502

会 議 次 第

- 1 事務局挨拶
- 2 事務局報告（委嘱状伝達）
- 3 正副委員長互選
- 4 開会
- 5 報告事項
 - （1）史跡の公有化・維持管理について 資料1
 - （2）史跡に関する普及・活用事業について 資料2
 - （3）令和8・9年度史跡保存整備工事について 資料3
- 6 その他 資料4
- 7 閉会

配布資料一覧

- ・ 令和 8 年度第 1 回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会会議次第
- ・ 令和 7 年度第 2 回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会議事録
- ・ 委員名簿
- ・ 武蔵国分寺跡資料館だより第 60 号
- ・ 武蔵国分寺跡資料館 「夏のイベント」チラシ
- ・ 武蔵国分寺跡資料館 夏季企画展「変わりゆく街並み、駅のかたち」チラシ

資料 1-1	令和 8 年度公有化予定図
資料 1-2	史跡地の維持管理について
資料 2	ふれあいカレンダー（資料館だより第 60 号、P3）、夏のイベントチラシ
資料 3-1	令和 8・9 年度 史跡整備工事について
資料 3-2	北方・推定中院地区整備工事図面
資料 3-3	SB39 掘立柱建物跡（瓦積レプリカ）復元イメージ図
資料 4	新もとまちプラザ建設に伴う発掘調査について

令和7年度第2回国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会議事録

日 時 令和8年3月17日（火）午後2時～

場 所 国分寺市役所2階 会議室201

整備委員会委員（7名）

委員長	坂 誥 秀 一
副委員長	福 嶋 司
委員	藤 井 恵 介
委員	酒 井 清 治
委員	佐 藤 信
委員	鈴 木 誠
委員	永 澤 章

オブザーバー（2名）

文化庁文化財第二課 主任文化財調査官
東京都教育長地域教育支援部管理課

渋谷 啓 一
野 口 舞

出席職員（11名）

教育長	古屋 真 宏
教育部長	日 高 久 善
ふるさと文化財課長兼市史編さん室長	依 田 亮 一
ふるさと文化財課 史跡整備担当課長	諸 橋 広 光
〃 文化財保護係	中 道 誠
〃 文化財保護係	松 崎 嶺
〃 史跡係長	野 中 太久磨
〃 史跡係	牧 野 望 実
緑と公園課 公園緑地係長	井 上 健 次
〃 公園緑地係	内 山 陸
〃 公園緑地係	齊 藤 巧 真

文化財保存計画協会（コンサルタント）

<会議次第>

1. 教育長挨拶
2. 事務局報告
3. 開会
4. 報告事項

（1）令和7年度史跡保存整備工事について

資料1

（2）北方・推定中院地区整備工事の調整設計について
（令和8年度史跡保存整備工事について）

資料2-1

資料2-2

資料2-3

資料2-4

5. その他

6. 現地視察

令和7年度整備工事完了状況（南門地区）

令和8年度整備工事対象地（北方・推定中院地区）

7. 閉会

1. 教育長挨拶

教育長 皆様、こんにちは。本日はご多忙の折、国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会にご出席いただき、誠にありがとうございます。委員の皆様には、日頃より本市の文化財行政、特に史跡の保存整備につきまして、多大なるご指導・ご助言を賜っておりますこと、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

史跡武蔵国分寺跡の整備につきましては、市民の皆様が歴史を身近に感じられる場所となるよう、着実に進めてまいりました。現在、南門地区の整備が最終段階を迎えております。また、国分寺観光まちづくり協会では、3月28日に「さくらまつり」を開催する予定です。地元の社会福祉法人との共催ということで、こうした催しを通じて、市民の皆様にたくさん史跡へ足を運んでいただきたいと思いますと考えております。

本日は、これまでの報告と今後の工事計画についてお話しさせていただきます。ぜひ忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

2. 事務局報告

諸橋課長 ありがとうございます。今年度、委員に一部交代がございましたので、新しい委員の方をご紹介します。史跡地地主会の会長が、4月より小柳博行会長から永澤章会長に代わられました。本委員会では、史跡地の円滑な整備のため、慣例により地主会会長に委員としてご意見をいただいております。それでは、永澤様、ご挨拶をいただけますでしょうか。

永澤委員 皆様、こんにちは。初めて参加させていただきます。前回の小柳会長から引き継ぎまして、私が会長となりました永澤です。今後ともよろしくお願いいたします。本日はよろしくお願いいたします。

諸橋課長 ありがとうございます。また、ふるさと文化財課に人事異動がございましたので、紹介させていただきます。文化財保護係の佐藤が育児休暇に入っており、その後任として松崎が12月1日付で着任しております。また、しばらくお休みをいただいております中道が、2月より復帰しております。一言ずつご挨拶をさせていただきます。

中道主任 文化財保護係の中道でございます。今年の2月に復職いたしました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

松崎係員 12月1日に配属になりました、文化財保護係の松崎嶺と申します。入職してから

まだ3ヶ月で勉強中の身ではございますが、今後ともよろしくお願いいたします。

諸橋課長

どうぞよろしくお願いいたします。本日の委員会につきましては、定数10名の過半数以上、7名の委員の出席をいただいております。したがって、国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例第6条に基づき、本日の会議は成立いたします。なお、佐藤先生につきましては、ご自宅からオンラインでの参加予定となっております。

本日はオブザーバーとして、文化庁より渋谷主任文化財調査官、東京都教育庁地域教育支援部より野口主任にご出席をいただいております。また工事の担当課として、緑と公園課より井上係長、内山主任、齊藤主任が出席しております。さらに、今年度整備工事の工事監理と、北方地区の実施設計を担当しました文化財保存計画協会の方に同席いただいております。

本日の流れを簡単に説明いたします。報告事項が2件ございます。報告が終了後、委員の皆様と令和7・8年度工事対象地の視察を予定しております。現地をご覧いただきながら整備内容の説明をさせていただき、視察終了とともに本委員会は閉会とさせていただきます。それでは坂詰先生、ここからの進行をよろしくお願いいたします。

3. 開会

坂詰委員長

それでは、今年度第2回の国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会を開催させていただきます。お忙しいところご参集いただきましてありがとうございます。最初に確認したいのですが、お手元に前回の議事録があるかと思います。事務局で十分に校正をしたつもりですが、もし誤りなどがございましたら、事務局の方へお伝えいただくということよろしいでしょうか。

(委員一同、了承)

坂詰委員長

それでは、事務局の方で意見があれば修正・その他適切に対応するということでご了承いただきました。ありがとうございます。

4. 報告事項

坂詰委員長

それでは、協議に入ります。本日は報告事項が2件ございます。1件目は「令和7年度史跡保存整備工事」について、2番目は「北方・推定中院地区整備工事の調整設計」について、特に令和8年度史跡保存整備工事について報告したいと思います。それでは、報告事項の1点目に入ります。

(1) 令和7年度史跡保存整備工事について

野中係長

史跡係長の野中が説明いたします。資料1をご覧ください。前回の委員会でもご報告しましたが、南門地区の工事が最終年度となっております。すでに竣工検査が完了し、整備工事が完了している状態となっております。後ほど現地視察において

詳しく見ていただきたいと思います。大きな整備のポイントとしては、中枢部区画施設（築地塀や溝）の南東部分のコーナーが表現できたことになります。

現地でご覧いただくと、これまでに整備した西側とつながっている様子がわかりやすくなっております。それから、伽藍区画溝の南辺について、これまで西側が整備されていましたが、道路を挟んで東側の砂利の広場の部分にも遺構表示を継続しております。解説板も設置してございます。

また、便益施設として、ここは大きな広場になりますので、東屋が 2 つ設置されている状況です。中央右側の写真の奥に写っている文化財倉庫があります。これは昭和 50 年代に設置された倉庫で、市内の遺跡から出てきたものが収められていたのですが、今回の整備完了に合わせて、この倉庫の中身の整理と撤去を進めております。

中に入っていた遺物は、新たに「もとまち地域センター（旧金子学園）」近くの市の施設の外庭部分にプレハブの小屋を建て、そこへ移転する作業を行っております。今月中に中身の移転が終わり、4 月中に建物の除却、その後に周囲の舗装に合わせた整地を行い、6 月には本格的な開放となります。現在はすでに工事が終わっているのもので一般市民の方に開放はしていますが、市の歴史公園条例に基づく供用開始は 6 月以降ということになります。以上です。

坂詰委員長 お疲れ様でした。先生方がいつも「目障りだ」とおっしゃっていた倉庫がようやく移設されることになりました。移転先のプレハブもできているようですね。

野中係長 はい、建物はできており、現在中身の半分以上が移動済みです。

坂詰委員長 特にこの件についてご意見はないかと思いますので、2 番目に移らせていただきます。「北方・推定中院地区整備工事の調整設計」について、事務局よりお願いいたします。

（２）北方・推定中院地区整備工事の調整設計について（令和 8 年度史跡保存整備工事について）

野中係長 引き続き野中が説明いたします。報告事項の 2 番目につきましては、資料を 4 つ用意してございます。

資料 2-1、2-2 が北方・推定中院地区の全体イメージ図です。

資料 2-3 が築地塀の版築復元に特化した資料。

資料 2-4 が SB39 の瓦積遺構のレプリカに特化した資料となります。

資料 2-1 の平面図をご覧ください。2 か年での工事を予定しております。大きく表示するのは、東側に南北に長い掘立柱建物跡（僧房のような規模）がありますので、その表示です。これについては、南門付近と同じように柱を途中まで立てる形で、令和 8 年度に整備を行います。

西側の端の方には、小規模な掘立柱建物跡がありますが、こちらは後ほど紹介す

る瓦積遺構を伴う建物跡になりまして、整備自体は令和 9 年度と考えております。

もうひとつ大きいのが、エリアの中央下にある「中枢部区画施設」です。これは中枢部を区画する溝や塀の北西のコーナーになります。今日後ほどご覧いただく場所が南東のコーナーですので、その対角線上に位置する場所になります。ここで築地塀を立体的に復元します。この立体的に復元する（実際に版築で築地塀を積む）工事は令和 9 年度となります。令和 8 年度はそのための試験施工や下準備を行う予定です。

右下にある階段は中枢部からの出入口になります。ちょうどこの向かい側に講堂への階段がありまして、講堂側からここを行き来できる場所になっています。そこから園路で北側へカーブして、道路沿いの敷石舗装の北側入り口につながっていくことになります。

資料 2-2 は、より詳細な施工年次（赤と青）を記したものです。令和 8 年度は主に基盤整備工事、令和 9 年度に上部構造物を作るという予定になっております。

資料 2-3 をご覧ください。前回の委員会で審議いただいた内容の報告です。

まず素材についてですが、高さ 1.4 メートルまで版築し、屋根は設けないという内容は踏襲しつつ、耐久性を考慮して「セメントや固化剤が入った改良土」で版築したいと考えています。

仕上げについては、藤井先生のご助言を受け、無理に板の目（板目）を出すようなことはせず、経年劣化による自然な凹凸を活かす方向で整備します。

土の色や版築の厚みについてですが、資料 2-3 の裏面（A3 折り込み）をご覧ください。実際に築地塀の北西部分と南側の東部分で、どのような発掘調査成果があったかの整理です。北西は白色粘土（白っぽい土）、南側は黄褐色・茶色っぽい土で積まれている様子がわかっています。さらに築地塀南側の溝の中に堆積した崩落土も、やはり茶色っぽい土でした。これらを踏まえ、今回地上に復元する築地塀の色は、黄褐色と暗褐色（茶色っぽいもの）の版築を考えています。

厚みについては、発掘調査では北西と南東で若干異なりますが、施工性や経済面も考慮し、現在は約 5 センチの厚みでの版築を考えております。一番下の図面にあるように、L 字になっている北西のコーナーを版築します。真ん中の部分は他の材料で空洞を埋め、外側と上部について実際に版築を行っていく構造です。令和 8 年度に試験施工を行い、令和 9 年度に現地で版築を行います。その際、市民による版築体験なども実施できればと考えております。

資料 2-4 をご覧ください。西側にありました瓦積遺構があった掘立柱建物跡の、レプリカ設置についてです。下にある写真は瓦積遺構を 3D 計測したものです。真ん中に排水管が通っている状況ですが、このデータを基に「GRC（ガラス繊維補強コンクリート）」によるレプリカを現地に設置します。令和 8 年度にスチロール素材による原型を作り、既存の排水管がある部分については瓦積を補って繋げた形での

原型を作成し、令和 9 年度に現地へ GRC レプリカを設置します。

最後のページ(資料 2-4 裏面)は、スチロールによる原型のイメージです。3D データから削り出し、排水管があった部分を補った状態で作ります。これをもとに、東山道の切り通し遺構の表現でも使われている丈夫な素材「GRC」で作成します。

坂詰委員長 報告ありがとうございました。大きく分けて 3 点(南北の僧房のような建物跡、西側の瓦積遺構と建物跡、中枢部区画施設の築地塀版築)についての報告でした。これらについて、先生方からご意見を伺いたいと思います。まず、全体を通して藤井先生、いかがでしょうか。

藤井委員 はい。全体として、非常にまとまった良い形になったと思います。1 点お聞きしたいのは、資料 2-4 の瓦積遺構のレプリカについてです。GRC という素材の重さは、コンクリートと同等と考えてよろしいでしょうか。元の瓦の部材と比べて、どちらが重いのですか？

コンサルタント コンクリートと同等の重さになります。元の瓦よりもコンクリートの方が重いと思われます。

坂詰委員長 ありがとうございます。佐藤先生、オンラインで繋がっていますが、いかがでしょうか。

佐藤委員 すみません、参加が遅れて失礼いたしました。GRC というのは、具体的には何でしょうか？

野中係長 ガラス繊維を混ぜたコンクリートのことです。

佐藤委員 どこで使っているとおっしゃいましたか？

野中係長 東山道の切り通し状の遺構を表現している「覆屋(おおいや)」がついた場所で使われている素材です。

佐藤委員 あ、あその場所ですね。わかりました。内容については、これまでの議論の延長上なので特に異論はありません。ただ、北西コーナーの築地塀の色味についてですが、北西で発掘されたのは基底部(下の方)で白っぽい土だったとのこと。今回復元するのは地上部分ですので、中門(南側)の茶色っぽい色に合わせるという説明でしたが、場所によって色が違っていても良いのではないかという気がします。北西は北西で発掘された白っぽい色、中門は中門で茶色っぽい色、というように。いかがでしょうか。

坂詰委員長 色の問題ですね。実はこの版築の泥がどこから持ってきたかという点、国分寺の南大門の西側あたりに大量に泥を掘った跡があり、そこからローム土や粘土を掘ったようです。ローム土にも明るい色と暗い色の 2 種類ありました。

佐藤委員 なるほど。

坂詰委員長 東山道の武蔵路の整備の際も、上層部の色をどうするか議論になりました。当時は色を選んだのですが、業者は「色は変わらない」と言っていました。ところが、時間が経つと全然違う色になってしまいました。ですから、色の変化はあまり気に

しすぎても仕方ない気がします。事務局で再度検討していただくということによろしいでしょうか。

佐藤委員 結構です。あと一点、北西コーナーの版築ですが、築地塀の上に屋根瓦が載る姿も含めた立体的な復元の姿を、しっかりした説明板で示してほしいと思います。

坂詰委員長 事務局、今の佐藤先生のご指摘、対応をお願いします。

野中係長 はい、承知いたしました。

坂詰委員長 酒井先生、いかがでしょうか。

酒井委員 土の色ですが、版築の色目が将来的にわからなくなってしまうか心配していましたが、サンプルを見る限り、色の違いがあれば大丈夫そうですね。あと、瓦積遺構のレプリカですが、排水管で瓦がない部分は「補完する」とありますが、どのような方法で積むのですか？

野中係長 3D データ上で、周囲の瓦の積まれ方を自然に繋げる形で凹凸を作成し、それを原型としてレプリカを作ります。

坂詰委員長 壊れている部分は壊れている通りに正直にしたほうが良いのではないかという気もしますが、その点も事務局で検討してください。藤井先生、版築の層についてはいかがですか。

藤井委員 法隆寺の古い築地塀を見ると、土層の間に砂が敷いてあって、雨に当たると砂のところが減って横線が見えるようになっています。ここ（国分寺）の版築に、元々そういったものが入っていたかどうか気になります。

事務局 今回の場合、砂は入っていません。

藤井委員 露出していると土層の違いが見えなくなるかもしれませんが、それは事実として仕方のないことだと思います。

坂詰委員長 ありがとうございます。鈴木先生、全体的にいかがでしょうか。

鈴木委員 資料 2-2 の「貯留浸透基盤材層」という赤い斜線の部分についてですが、これはあちこちに配置されていますが、雨水を地下に浸透させる施設という理解でよろしいですか。あと、干渉地帯の砂利の幅や形について、一箇所だけ出っ張っているのが気になるのですが、何か法則があるのでしょうか。

野中係長 ハッチングについては、一部わかりにくくて申し訳ありません。北側の隣地との境界にあるハッチングは単なる「緩衝地帯（砂利）」を表したものです。それより南側や園路の下にあるのが、実際の浸透層になります。地形の勾配を利用して、南側の斜面からの水を逃がすように配置しています。砂利の形については、北側の入り口部分が管理用の出入り口で、一般開放するには狭すぎるため、あえて人の流れを制限するような形になっています。形状については精査し、必要があれば修正します。

坂詰委員長 福島先生、いかがでしょうか。

福島委員 私は植栽について。資料 2-1 の緑色の部分は現状のまま（芝生を張るわけではな

い) とのことですが、管理が大変そうですね。植える植物については、国分寺の在来種、特に万葉時代からあったような植物を使うほうが良いと思います。資料 2-2 の「ヤザ」は山桜（ヤマザクラ）、「アキ」は秋楡（アキニレ）、「ユズ」は櫟（ユズリハ）ですね。山桜をもっと増やしても良いですし、ツツジは管理が悪いと見窄らしくなるので、他の低木（アセビ、イヌツゲ、トウネズミモチなど）も含めた常緑樹を検討してはどうでしょうか。長期間の景観を意識した配置と樹種の選定をお願いしたいです。

坂詰委員長 永澤さん、初めての参加ですがいかがですか。

永澤委員 植栽については、国分寺のお寺の中に「万葉植物園」があり、いろいろな植物が植わっています。それを参考に樹種を選んでも良いのではないかと思います。例えば「タラヨウ」など、昔の生活に関わるものも面白いかもしれません。

坂詰委員長 地元の意見としてありがとうございます。前市長の星野先生が作られた万葉植物園との整合性も検討してください。野口さん、東京都からはいかがでしょうか。

野口主任 築地塀を 1.4 メートルという高さで復元する場所ですが、ここは車が通る道ですか？ 突然目の前に 1.4 メートルの壁が現れると死角になり、カーブミラーが必要になったりするともったいないなと思いました。

野中係長 車はほとんど通りませんが、高低差なども含めて配慮します。

野口主任 あと、Google マップで見ると道沿いに大きな木が 2 本ありますが、これは切らずに活かすのですか？

野中係長 おそらく、今見られている木は切る予定です。後ほど現地で説明します。

坂詰委員長 渋谷さん、文化庁からはいかがでしょうか。

渋谷主任 計画通りに進めていただければと思いますが、版築の劣化が心配です。他の事例でも数年経つと劣化が進むものがありますので、材質などは十分に吟味してください。

坂詰委員長 佐藤先生、最後に何かありますか。

佐藤委員 南北に長い大きな建物（SB91）について。最初は僧房かと思ったのですが、間仕切りが見つからなかったという記憶があります。どう評価されていますか。

依田課長 令和 2 年度に行いました発掘調査で、SB91 は桁行 9 間以上、梁間 2 間の南北に長軸をもつ掘立柱建物で、身舎の東西両側には廂を伴う格式の高い建物であることがわかりました。柱穴の大きさは 1 メートル以上もあり、非常に大きな建物と思われます。南側から 3 間ごとに、床を支える「束柱（つかばしら）」のような小さな柱穴が確認されましたが、部屋の間仕切施設自体は見つかりませんでした。発掘調査でおおよその様相が把握されています僧寺の東僧坊や尼寺の尼坊と、規模や構造面で相違ない大型の建物であることから、礎石建てではありますが西僧坊の前身的な建物である可能性や、坂詰先生からご指摘がございました中院を構成する施設として写経所の可能性も含めて検討しているところです。

坂詰委員長　　私は、ここは普通の僧坊とは違い、武蔵国で盛んに行われていた写経に関係する場所だったのではないかという、勝手な説を持っています。北側の丘陵の上に建物があり、そこに中院の僧が住んでいたというような。いずれにしても、今後調査を継続し、内容を定めていきたいと思います。

5. その他

坂詰委員長　　時間となりました。以上で本日の報告事項 2 件と質疑を終了します。いくつか出された問題点については事務局で検討し、今後進めてください。それでは事務局にお返しします。

諸橋課長　　ありがとうございました。頂いたご意見はしっかりと検討してまいります。この後、史跡地の視察に移ります。ご移動の準備をお願いいたします。

6. 現地視察

令和 7 年度整備工事完了状況（南門地区）

令和 8 年度整備工事対象地（北方・推定中院地区）

7. 閉会

国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会委員名簿

任 期：令和8年7月8日から令10年7月7日まで

No.	氏 名	住所	委員区分	略歴等
1	ながさわ あきら 永澤 章	国分寺市	(1)号委員	武蔵国分寺史跡地地主会会長
2	くぼ た ひさし 久保田 尚	ふじみ野市	(1)号委員	埼玉大学名誉教授 日本大学客員教授 (交通計画)
3	さかい きよじ 酒井 清治	松戸市	(1)号委員	駒澤大学名誉教授 (考古学)
4	さとう まこと 佐藤 信	港区	(1)号委員	東京大学名誉教授 (古代史学)
5	すずき まこと 鈴木 誠	足立区	(1)号委員	東京農業大学グリーンアカデミー校長 東京農業大学名誉教授 (造園学)
6	のざわ やすし 野澤 康	新宿区	(1)号委員	工学院大学建築学部まちづくり学科教授 (都市計画)
7	ふじい けいすけ 藤井 恵介	杉並区	(1)号委員	東京大学名誉教授 (建築史学)
8	まつい としや 松井 敏也	流山市	(1)号委員	筑波大学芸術系教授 (保存科学)
9	さかづめ ひでいち 坂詰 秀一	国分寺市	(2)号委員	文化財保護審議会会長 立正大学特別栄誉教授 元立正大学学長 (考古学)
10	ふくしま つかさ 福嶋 司	国分寺市	(2)号委員	文化財保護審議会副会長 東京農工大学名誉教授 (植物学)

国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例第3条第1項第1号＝識見を有する者、第2号＝国分寺市文化財保護審議会委員

定数：10人以内（国分寺市史跡武蔵国分寺跡保存整備委員会設置条例）



令和8年度夏季企画展

変わりゆく街並み、駅のかたち — 国分寺駅前風景と掘り出された汽車土瓶 —

武蔵国分寺跡資料館では、この夏、企画展「変わりゆく街並み、駅のかたち - 国分寺駅前風景と掘り出された汽車土瓶 -」を開催します。

私たちの日常の風景に溶け込んでいる「駅」。しかし、その姿は時代とともに幾層もの変化を遂げてきました。昭和30年代、国分寺駅前には活気にあふれ、買い物や娯楽の中心地として人々の暮らしを支えていました。昼夜を問わずにぎわう街並み。その一方で、当時の記録からは、通勤ラッシュで込みあう駅のホームや渋滞する周辺道路など、都市化へと向かう激動の風景も見えてきます。本展では、昭和30年代から平成初期までの記録写真と当時の市報記事を中心に、駅前の風景がどのように変わってきたのかをたどります。

さらに、甲府市の甲府城下町遺跡の発掘調査から見つかった汽車土瓶を展示します。汽車土瓶とは、湯呑とセットになった土瓶で、お茶を入れて駅構内で販売されました。それらの土瓶には「古くぶんじ」と銘が入っています。かつて明治の頃、駅弁とともに旅をした汽車土瓶が、時を経て“駅の記憶”を語る貴重な資料としてよみがえります。

会場には、来館者が自由に書き込める「思い出マップ」コーナーを設置します。お気に入りのお店やよく通った路地、友達と待ち合わせた場所など、あなたの記憶に残る国分寺駅周辺の思い出をぜひ教えてください。

駅の歴史を知り、街の記憶を未来へつなぐ夏。ぜひご来館ください。
(相澤 勝)

- 期 間 令和8年7月28日(火)～9月13日(日)
- 会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室
- 入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要
- 休 館 日 月曜日(祝・振替休日の場合は直後の平日)



国分寺駅北口商店街 昭和39年7月(1964)



国分寺駅北口(夜景) 昭和41年(1966)



国分寺駅北口 昭和41年(1966)



国分寺駅南口広場 昭和42年(1967)



国分寺駅北口通りに歩行者天国誕生 昭和45年(1970)

国分寺市文化財ふれあいカレンダー【令和8年度事業予定】

月	日(曜日)	行 事
4	17日(金)	●端午の節句飾り【旧本多家住宅長屋門】(5月6日まで)
	25日(土)	●「子ども歴史クイズラリー」(5月6日まで)【おたかの道湧水園ほか】
	29日(祝)	●「拓本体験①(縄文土器)」【武蔵国分寺跡資料館】
5	6日(振替)	●「拓本体験②(瓦)」【武蔵国分寺跡資料館】
7	25日(土)	●缶バッジづくり(おたかの道湧水園の自然モチーフ)【武蔵国分寺跡資料館】
	27日(月)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
	28日(火)	●武蔵国分寺跡資料館夏季企画展「変わりゆく街並み、駅のかたちー国分寺駅前風景と掘り出された汽車土瓶ー」(9月13日まで)
8	1日(土)	●拓本うちわの作成(子ども向け)【武蔵国分寺跡資料館】※
	7日(金)	●みて!さわって!武蔵国分寺の瓦【武蔵国分寺跡資料館】
	11日(祝)	●缶バッジづくり(資料館の展示物モチーフ)【武蔵国分寺跡資料館】
	22日(土)	●ミニチュア遺物の作成(子ども向け)【武蔵国分寺跡資料館】※
	24日(月)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
	28日(金) 29日(土)	●みて!さわって!武蔵国分寺の瓦【武蔵国分寺跡資料館】
	31日(月)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
9	下旬	●十五夜飾り【旧本多家住宅長屋門】
	30日(水)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
10	上旬	●十五夜飾り【旧本多家住宅長屋門】
	10日(土)	●武蔵国分寺跡資料館秋季企画展「大昔のこくぶんじ〜旧石器時代・縄文時代〜」(12月6日まで) ●市内文化財めぐり ※
	14日(水)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
	16日(金)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
	18日(日)	●おたかの道湧水園・開園記念日 おたかの道湧水園無料公開
	20日(火)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【武蔵国分寺跡資料館】※
	下旬	●十三夜飾り【旧本多家住宅長屋門】
	23日(金) 24日(土)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【武蔵国分寺跡資料館】※ ●子ども向けクイズ(〜11月3日まで)【おたかの道湧水園ほか】
11	1日(日)	国分寺まつり ●おたかの道湧水園無料公開 ●史跡ガイドボランティア現地説明(僧寺金堂跡・真姿の池湧水群ほか) 定点ガイド ●子ども向けワークショップ【おたかの道湧水園】※
	中旬	★古文書講座入門編(〜12月まで、全5回)【ひかりプラザ】※
	18日(水)	○ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座【国分寺市役所】※
	28日(土)	●歴史講演会【本多公民館】※
12	上旬	●ヨウカソウ展示【旧本多家住宅長屋門】
	下旬	●正月飾り【旧本多家住宅長屋門】
1	上旬	●鶴玉飾り【旧本多家住宅長屋門】
	中旬	★古文書講座初級編(全3回)【ひかりプラザ】※
	23日(土) 24日(日)	多摩郷土誌フェア【場所未定】
	26日(火)	文化財防火デー
2	上旬	●ヨウカソウ展示【旧本多家住宅長屋門】
	6日(土)	●市外文化財めぐり(埼玉県鳩山町ほか)※
	中旬	●ひな人形展示(〜3月上旬まで)【旧本多家住宅長屋門】
	下旬	★古文書講座テーマ編(全2回)【ひかりプラザ】※

・内容、日程は変更することがあります。

・記号説明: ●→ふるさと文化財課主催・共催事業 ○→ふるさと文化財課愛護ボランティア養成講座 無印→ふるさと文化財課関連行事
★市史編さん室主催事業

【 】→会場 ※→事前申込制

・事業の詳細は市報、または市のHPをご参照ください。

お問い合わせ先 国分寺市教育委員会
ふるさと文化財課〈電話〉042-312-8683
市史編さん室〈電話〉042-571-7815

INFORMATION

おたかの道湧水園 夏のイベント

子どもたちの夏休みに合わせて地域の歴史や身の回りの自然に関連したイベントを開催します。

①缶バッヂづくり

【期 日】7月25日(土)、8月22日(土)

②みて!さわって!武蔵国分寺の瓦

【期 日】8月7日(金)、28日(金)、29日(日)

※大人も参加可

③ぬりえの配布

【期 日】7月25日(土)、8月1日(土)、7日(金)、11日(火祝)、22日(土) 28日(金)、29日(土)

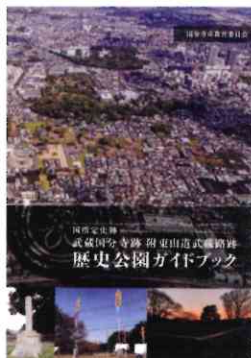
いずれも事前予約不要、会場は武蔵国分寺跡資料館です。子ども向けイベントですが、ご家族、大人も一緒に参加できます。時間等詳細は市HP、市報(7/15)をご覧ください。

歴史公園ガイドブック Ver.7を発行しました

令和7年度末までに整備を完了した各所の紹介と史跡整備事業の概要をまとめた歴史公園ガイドブックVer.7を発行しました。

武蔵国分寺跡資料館にて配布の他、国分寺市のHPからダウンロードもできます。

(市HP検索番号: 1024896)



北多摩縄文スタンプラリー 2026 開催

5つのまちをまわって縄文を探検しよう!

調布市・東村山市・国分寺市・国立市・西東京市の縄文遺跡に関連するスポットをめぐって景品をもらおう。

【期 間】令和8年7月18日(土)～令和9年1月24日(日)※景品の交換は2月7日(日)まで

【場 所】市内の縄文ノート配布・スタンプ設置ポイントは、武蔵国分寺跡資料館と文化財資料展示室の2か所

【景 品】スタンプ3個: レジャークッション
スタンプ10個: ペットボトルクーラー
※景品はなくなり次第交換終了

【費 用】参加費無料

【問 合 せ】東村山ふるさと歴史館 042-396-3800

※詳細は国分寺市報(7/15)・市HP(7/14以降)をご覧ください。



来館者数

多くのご来館ありがとうございました

2009年10月18日～2026年3月末日

来館者数累計 215,533 名

【1月～3月の学校見学】

	学校	人数
小学生	2	98
中学生	1	40
高校生	1	18

【来館校】市立五小(6年生)、武蔵台小(3年生)、明星中学校(1年生)、和光高等学校(2年生)

月	来館者数	開館日数
1	655	24
2	862	24
3	907	26
計	2,424	74

○来館者数は、おたかの道湧水園の入館者数

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

【電車】JR国分寺駅下車/徒歩約20分 JR西国分寺駅下車/徒歩約15分



【バス】国分寺駅下車

○「国分寺駅西」より国分寺市地域バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分

○「国分寺駅南口」より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

西国分寺駅下車

○「西国分寺駅東」より国分寺市地域バス「ぶんバス」万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車/徒歩約8分

■開館時間

午前9時～午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日) 年末年始(12月29日から1月3日まで)

※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入館料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)

一般……………100円(年間パスポート1,000円)

中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- (1) 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき【事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。】
- (2) 身体障害者等及びその介護者が入園するとき【発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。】
- (3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき【事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。】

※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



見る 学ぶ 訪ねる
武蔵国分寺跡
資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum



ホームページ
二次元バーコード

夏のイベント

武蔵国分寺跡資料館

HPはこちらから



7/25(土) 午前の部：10：00～11：30
午後の部：14：00～16：00

缶バッジづくり

生き物モチーフのバッジをつくり
ます

※子ども優先

※作成は1人ひとつ。先着 50 名



※ イベント参加は無料ですが、おたかの道湧水園入園料（大人 100 円）は必要です

※ 拓本うちわは 7/22（水）、ミニチュア遺物は 7/28（火）までに申込フォームからお申込みください。多数の場合は抽選、定員に満たない場合は翌日以降先着で受付ます

8/7(金) 午前の部：9：00～11：30
午後の部：13：00～16：00

ホンモノに触れる みて！さわって！

展示ケースにあるような、
大きな瓦に直接触れて重
さを体感することができます

自由研究のタネになるかも

武蔵国分寺の瓦



8/1(土) ①9：30 ②10：00 ③10：30
④11：00

拓本うちわの作成

瓦に刻まれた文字や模様を写し
取って「うちわ」にします

①～④ 各 6 名程度
中学生以下



拓本うちわ
申込フォーム



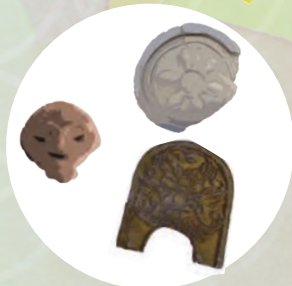
8/22(土) ①9：30 ②10：30 ③14：00

ミニチュア遺物の作成

ねんどで土偶や瓦などの遺物
をつくります

①～③ 各 6 名程度
中学生以下

ミニチュア遺物
申込フォーム



8/11(祝火) 午前の部：10：00～11：30
午後の部：14：00～16：00

缶バッジづくり

資料館の展示品モチーフのバッジ
をつくります

※子ども優先

※作成は1人ひとつ。先着 50 名



8/28(金)・29(土)

ホンモノに触れる みて！さわって！

午前の部：9：00～11：30
午後の部：13：00～16：00

武蔵国分寺の瓦

展示ケースにあるような、
大きな瓦に直接触れて重さ
を体感することができます
自由研究のタネになるかも
※8/7と同じ内容です



©alma

武蔵国分寺跡資料館
イメージキャラクター
明日華姫ちゃん

会場は多目的スペースです（資料館 2 階）
小学 3 年生以下は保護者と一緒に参加してください
イベント実施日には、資料館に展示しているものや
明日華姫ちゃんなどのぬりえも配布しています

【問い合わせ】 国分寺市教育委員会 ふるさと文化財課

TEL：042-312-8683 ※（月～金の 8:30 から 17:00 の間） mail：bunkazai@city.kokubunji.tokyo.jp

国分寺駅
KOKUBUNJI STATION

国分寺駅北口 昭和41年(1966)

令和8年度夏季企画展

変わりゆく街並み、
駅のかたち

国分寺駅前風景と
掘り出された汽車土瓶

7/28
TUE
9/13
SUN
会期



左 灰釉汽車土瓶(益子、甲府市教育委員会所蔵)
右 灰釉把手付茶瓶(美濃、国分寺市教育委員会所蔵)



東京都北多摩郡国分寺町案内図 昭和33年(1958)



国分寺駅北口通りに歩行者天国誕生 昭和45年(1970)

武蔵国分寺跡資料館
Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

[住所] 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

[電話] 042-323-4103 [FAX] 042-300-0091

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

変わりゆく街並み、駅のかたち

第1部

昭和30年代～平成初期 駅前と商店街



国分寺駅北口商店街 昭和39年(1964)

第2部 開発と鉄道

駅前の景観は、いつどのような事業によって変化したのでしょうか。鉄道と地域の発展との関係を見ていきます。



国分寺駅南口広場 昭和42年(1967)

第3部

掘り出された汽車土瓶 一駅の記憶をたどる



明治から大正の頃、駅弁とともに旅をした汽車土瓶が、時を経て駅の記憶を語る貴重な資料としてよみがえります。



汽車発着時刻表 明治44年(1911)
金子忠男家文書

記憶を残そう

思い出 マップ コーナー

いつも通った路地、お気に入りのお店、友達と待ち合わせた場所…あなたの思い出を教えてください

子どもの頃、夏はこの通りに緑日が出て…

■開館時間

午前9時～午後5時（入園は午後4時45分まで）

■休館日

毎週月曜日（祝日・振替休日の場合はその翌日）

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。（入園券は史跡の駅で販売）

一般……………100円（年間パスポート 1,000円）

中学生以下……………無料

【以下の場合には入園料の減免ができます】

- 1) 学校の教育活動で生徒（中学生を除く）、学生及び引率の教職員が入園するとき [事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。]
- 2) 身体障害者及びその介護者が入園するとき [発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。]
- 3) その他教育長が特別の理由があると認めるとき [事前（5日前まで）に減免申請書の提出が必要です。]
※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。

■交通のご案内

【電車】◎JR・西武「国分寺駅」下車／徒歩約20分 ◎JR「西国分寺駅」下車／徒歩約15分

【バス】◎国分寺市地域バス『ぶんバス』万葉・けやきルート「史跡武蔵国分寺跡」下車／徒歩約8分

◎国分寺駅南口「京王バス」系統番号〈寺83〉・〈寺87〉・〈寺88〉乗車「泉町一丁目」下車／徒歩約8分



武蔵国分寺跡資料館 Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

【電話】042-323-4103 【FAX】042-300-0091

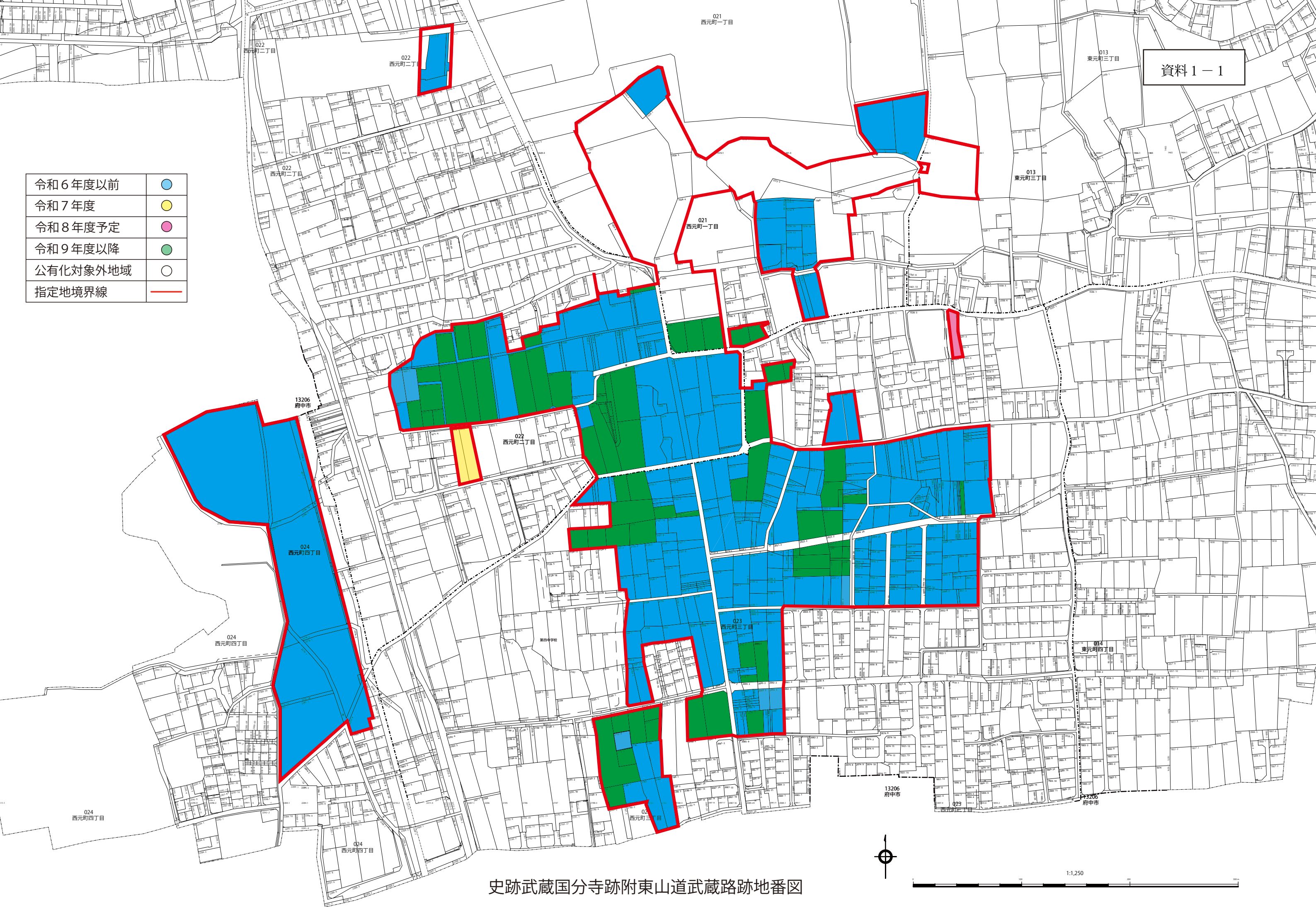
http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html



ホームページはこちら

企画展の会期や時間等については、今後の諸事情により変更する場合があります。お手数ですが、ご来園の際は市HP等で最新情報をお確かめください。

令和 6 年度以前	●
令和 7 年度	●
令和 8 年度予定	●
令和 9 年度以降	●
公有化対象外地域	○
指定地境界線	—



史跡武蔵国分寺跡附東山道武蔵路跡地番図

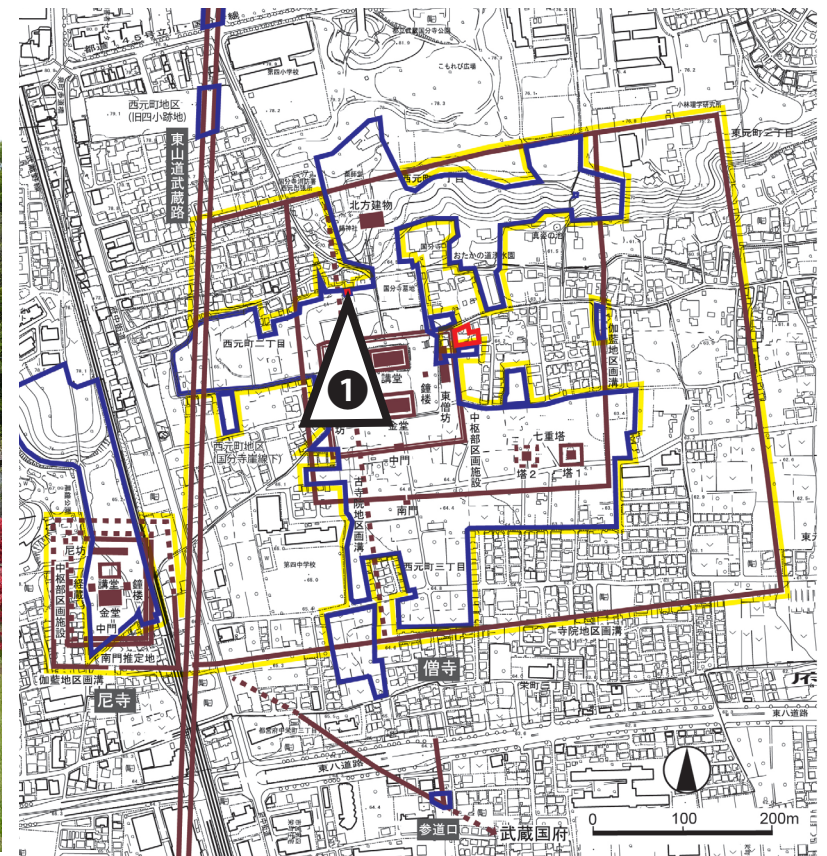


1:1,250

添付資料⑦ 追加指定範囲 I 地区 (現況写真① 南から)



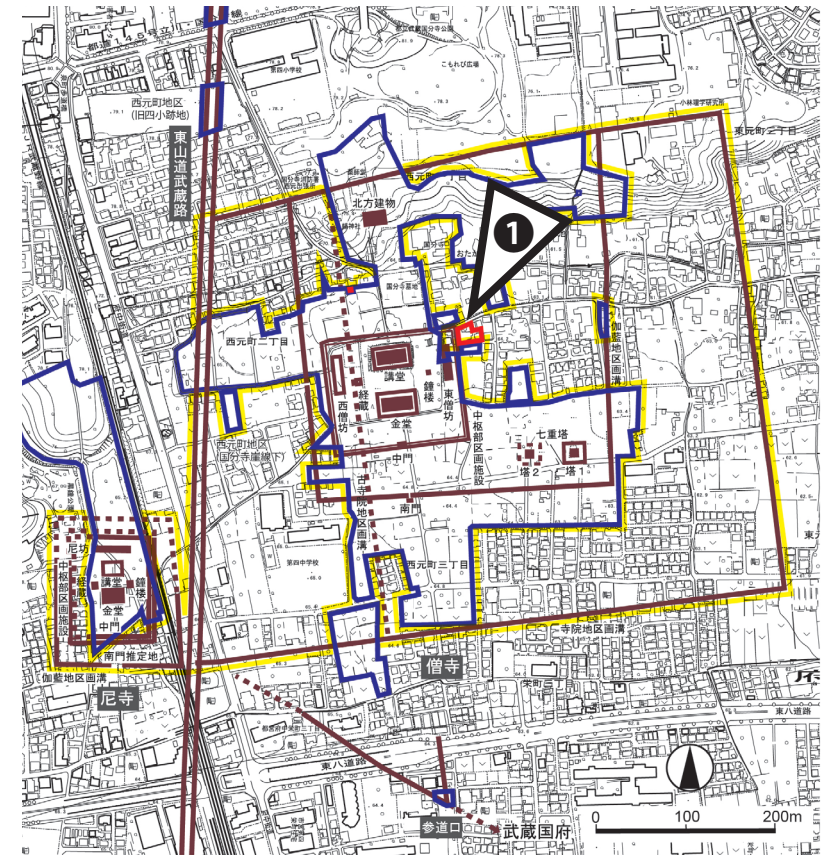
撮影場所・方向見取り図



追加指定範囲

添付資料⑦ 追加指定範囲 II 地区 (現況写真① 北東から)

撮影場所・方向見取り図



追加指定範囲

史跡地の維持管理について

史跡地の公有化・整備が進むにつれ、管理面積が広がり、維持管理にかかる負担も増大しています。

令和8年度予定

1. 除草等

①シルバー人材センターによる除草、柵修繕、植木刈込等
(契約金額 16,404,377 円)

②障害者施設による除草(予算 412,830 円)

③民間事業者による除草、剪定

南門地区 10,427 m²×2回 (契約金額 5,687,000 円)※新規

尼寺 15,950 m²×3回 (契約金額 9,185,000 円)※1回増



南門地区 草刈り後の様子(6月15日)



尼寺 草刈り後の様子(5月27日)

2. 枯損木・倒木処理

民間事業者(予算 9,333,946 円)

3. 看板修繕 尼寺跡

平成9～14年度に整備した看板19枚が劣化しているため、令和8年度中に修繕を行います。(予算 609,400 円)



4. 車止め修繕 僧寺中枢地域

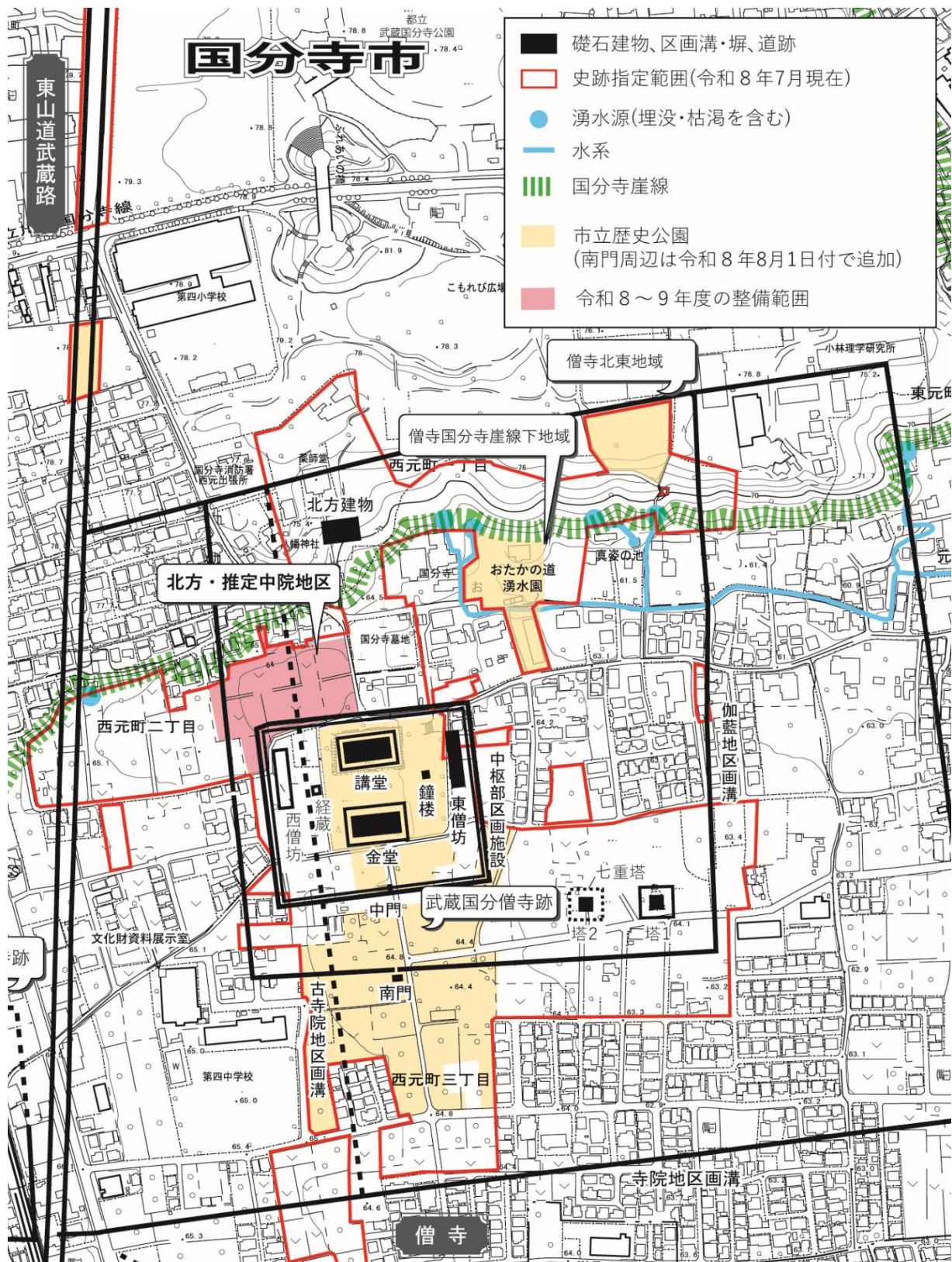
8か所 29本の車止めについて、劣化により、ポールの折れが多数発生しているため、すべて取替修繕を行います。

修繕に当たっては、長く使用ができるよう、駐輪スペース以外の車止めは擬石ボラードへ変更し、車止めが太くなる分、本数を減らします。(契約金額 1,750,000 円)



資料 3-1

令和 8 ・ 9 年度 史跡整備工事について



整備工事対象地位置図

令和 8 年度史跡整備工事について

工 事 件 名：史跡武蔵国分寺跡（僧寺地区）第一期整備工事
〔中枢部周辺地区（北方・推定中院地区）〕 その 1

工事主管課：ふるさと文化財課

工事担当課：公園緑地課

施 工 会 社：鈴木造園株式会社

工 期：令和 8 年 6 月 17 日から令和 9 年 2 月 12 日

整 備 内 容：

北方・推定中院地区における整備工事（2 カ年計画の 1 年次目）として、
主に基盤整備に関わる工事を実施する。

<遺構整備工事>

- ・ SB91 大型掘立柱建物跡

掘立柱の立体表示

- ・ SB39 掘立柱建物跡

瓦積遺構レプリカ設置箇所・掘立柱立体表示箇所の基礎・擁壁設置

※瓦積遺構レプリカの原型は別途委託にて製作

- ・ 中枢部区画施設（築地塀）

築地塀版築に使用する材料の色調確認サンプル製作

築地塀版築の試験施工としてのベンチ製作

<その他工事>

- ・ 伐採工事（植栽は R9 年度に実施）

ヤマグワ、ソメイヨシノ（樹勢衰退のもの、入口に干渉するもの）、

トウネズミモチ、シュロ、アカメガシワ、マサキ、ツツジ（一部移植）

- ・ 北側管理用入口・階段・フェンス設置工事

- ・ 雨水浸透設備工事

- ・ 給水設備工事

- ・ 電気設備工事

※市民説明会

①令和 8 年 7 月 31 日（金）午後 6 時 30 分～ 市役所会議室 401

②令和 8 年 8 月 1 日（土）午前 10 時～ 市役所会議室 401

令和9年度史跡保存整備工事について

整備内容：

北方・推定中院地区における整備工事（2カ年計画の2年次目）として、遺構整備、入口広場・階段整備、植栽、照明設備の設置等を実施する。

<遺構整備工事>

- ・SB91 大型掘立柱建物跡
建物範囲表示（土系舗装）
- ・SB39 掘立柱建物跡
掘立柱立体表示
瓦積遺構レプリカ設置
建物範囲表示（土系舗装）
建物西側土坑の立体表示
- ・中枢部区画施設（築地塀・溝）
築地塀の立体表示（版築）・溝の表示
- ・伽藍地区画溝半立体表示
- ・遺構解説板設置

<その他工事>

- ・東側入口広場、南側入口（階段）整備工事
- ・植栽工事
- ・照明設備工事

調整事項

1. 植栽について

整備対象地は、桜（ソメイヨシノ）がまとまって植わり、お花見などで市民に親しまれていることを踏まえ、植栽する樹種は、日本の桜（ヤマザクラ、オオシマザクラ、エドヒガン、マメザクラ）とする。また、整備対象地西側に万葉植物園があることを踏まえ、将来的に北東部分の追加指定予定地・未買収地が公有化された際には、万葉植物を植栽することとする。

2. 照明について

北東入口、南側入口付近に照明灯を設置するのに加え、各遺構立体表示（掘立柱建物 SB39 及び SB91、築地塀）付近において、夜間の景観・安全性向上のためにライトアップ用照明を設置する。

3. 築地塀・築地塀外側の溝（平面表示）について

伽藍地区画溝（リュウノヒゲ・玉砂利）と区別し、中枢地区同様、舗装材による表示とし、より高品質な瓦骨材利用透水性舗装を採用する。

SB39 掘立柱建物瓦積遺構レプリカ原型製作について

概 要

SB39 掘立柱建物跡について、昭和 52 年（28 次調査）令和 2 年（754 次調査）の 2 回発掘調査が実施されており、の発掘調査で検出された SB39 西側土坑に面した瓦積遺構について、令和 2 年度発掘調査時に 3 D 計測を実施している。

令和 9 年度整備工事で SB39 復元表示において、現地に 3 D データを用いた G R C による複製模型を設置予定。

本年度はその原型（スチロール製）の製作を委託にて実施中。

検討事項

① 下水管による滅失箇所の処理

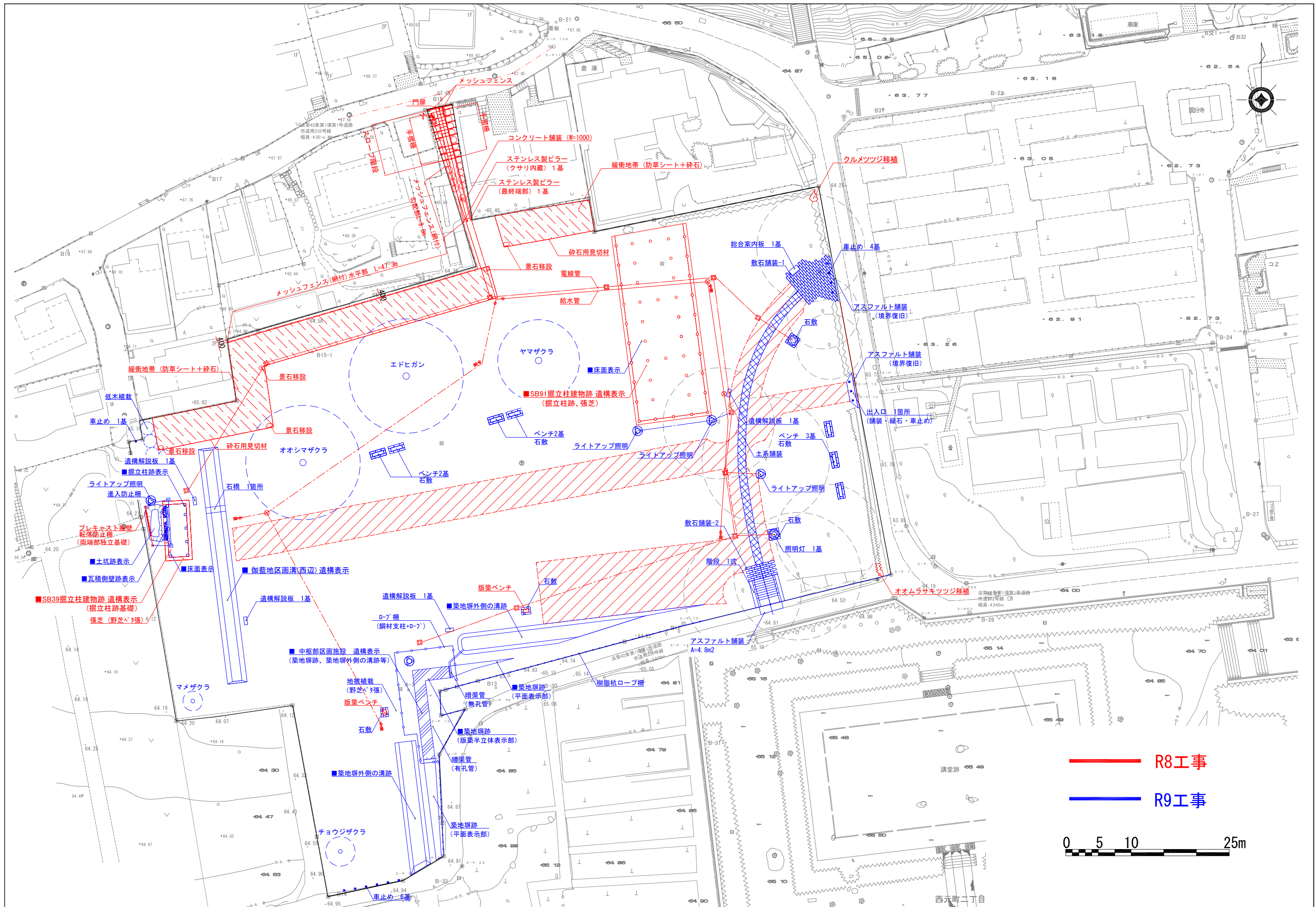
SB39 を分断する形で下水管が東西に通っており、その範囲の瓦積遺構は滅失している。この範囲については、瓦積を復元してレプリカ原型を作成することとする。※当日、復元案（1/20 模型）を提示。

② 調査で取り上げた宇瓦の補填

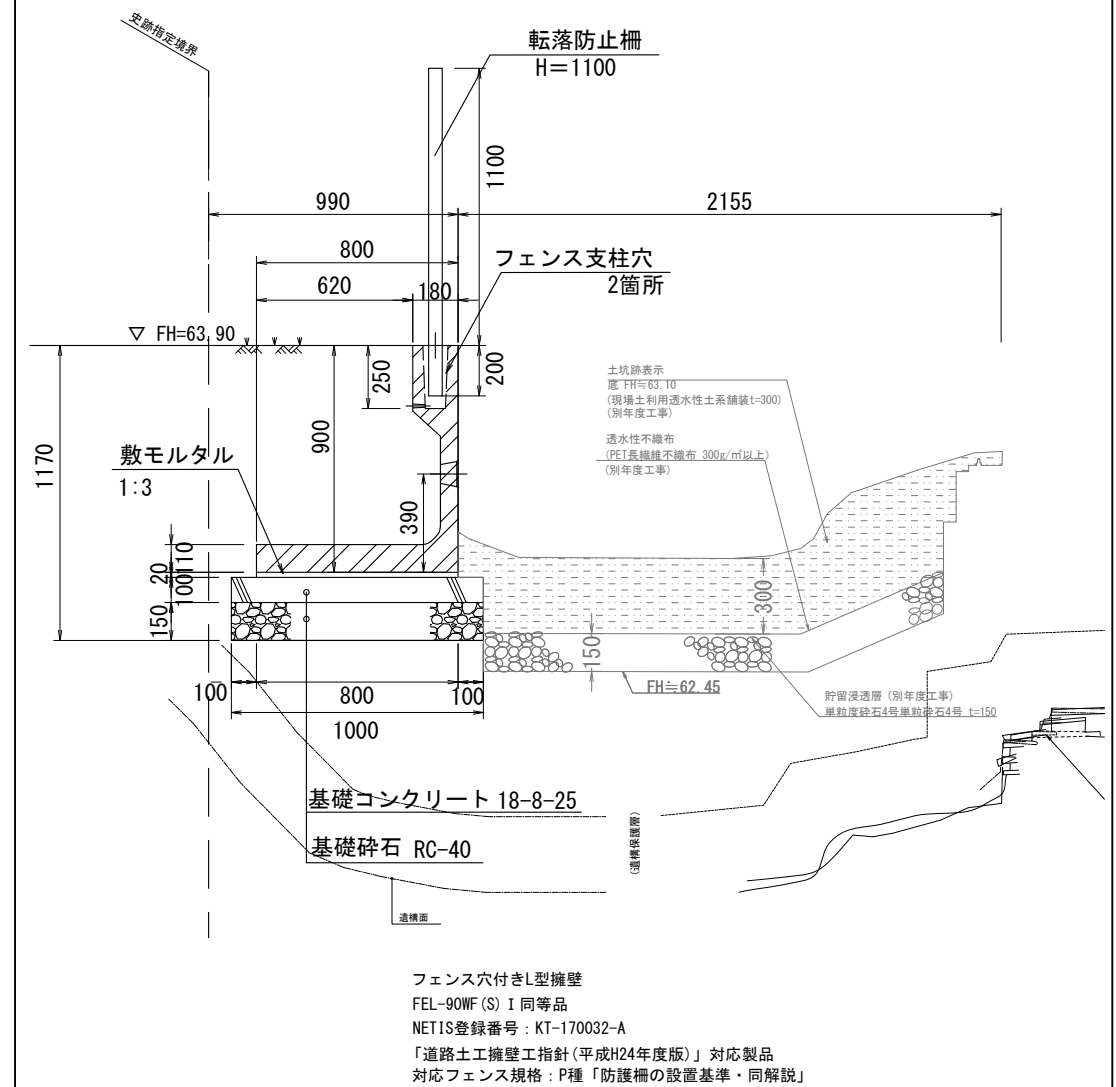
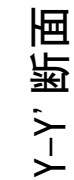
昭和 52 年の 28 次調査では、瓦積に使用されていた宇瓦を 1 点取り上げていることが判明した。令和 2 年（754 次調査）の段階では、当該宇瓦は現地にはなく、3D 計測で取得したデータにも当該瓦は含まれていない。よって、今後、別途この瓦のみ追加で 3D 計測を行って、データ上で瓦積に追加を行うことを検討する。

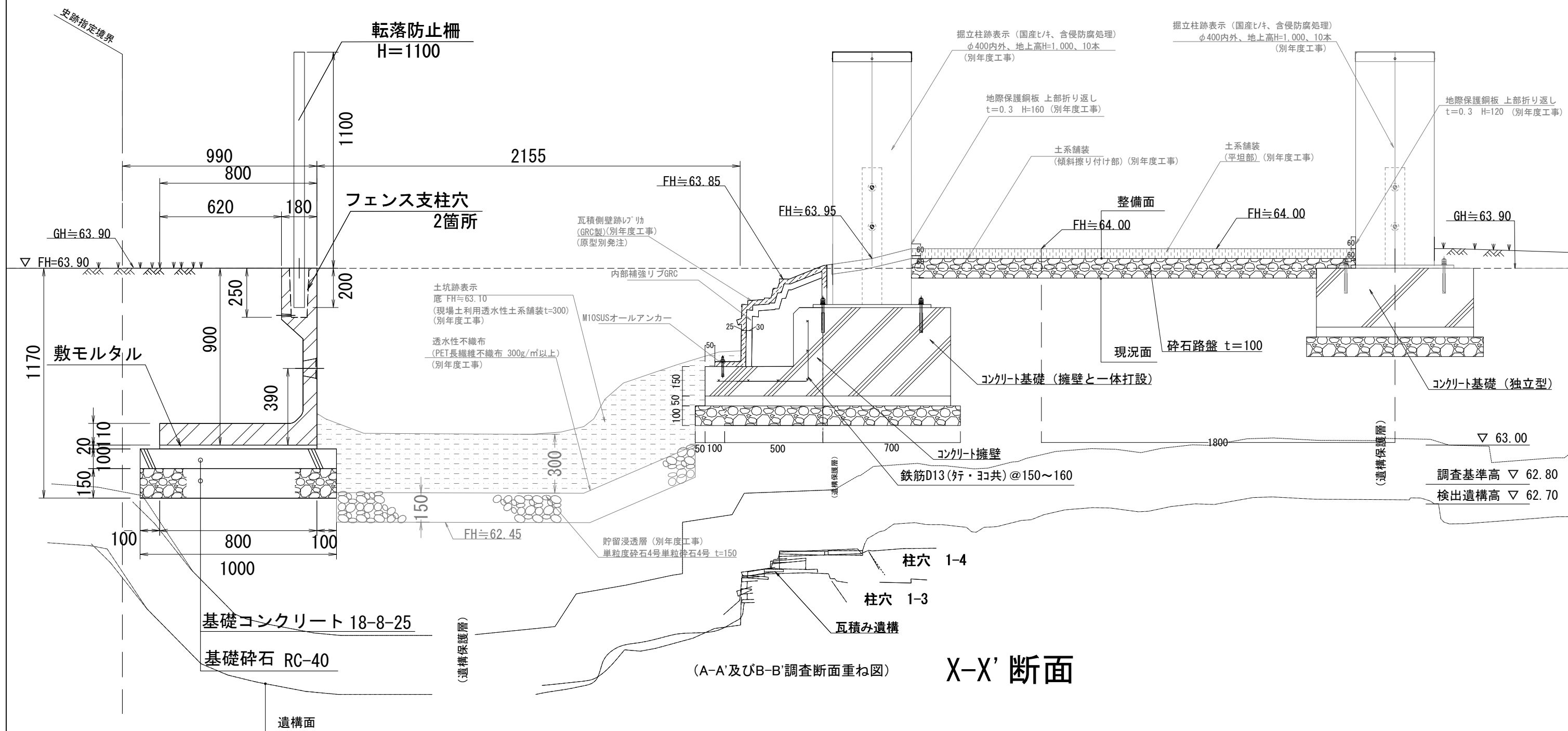


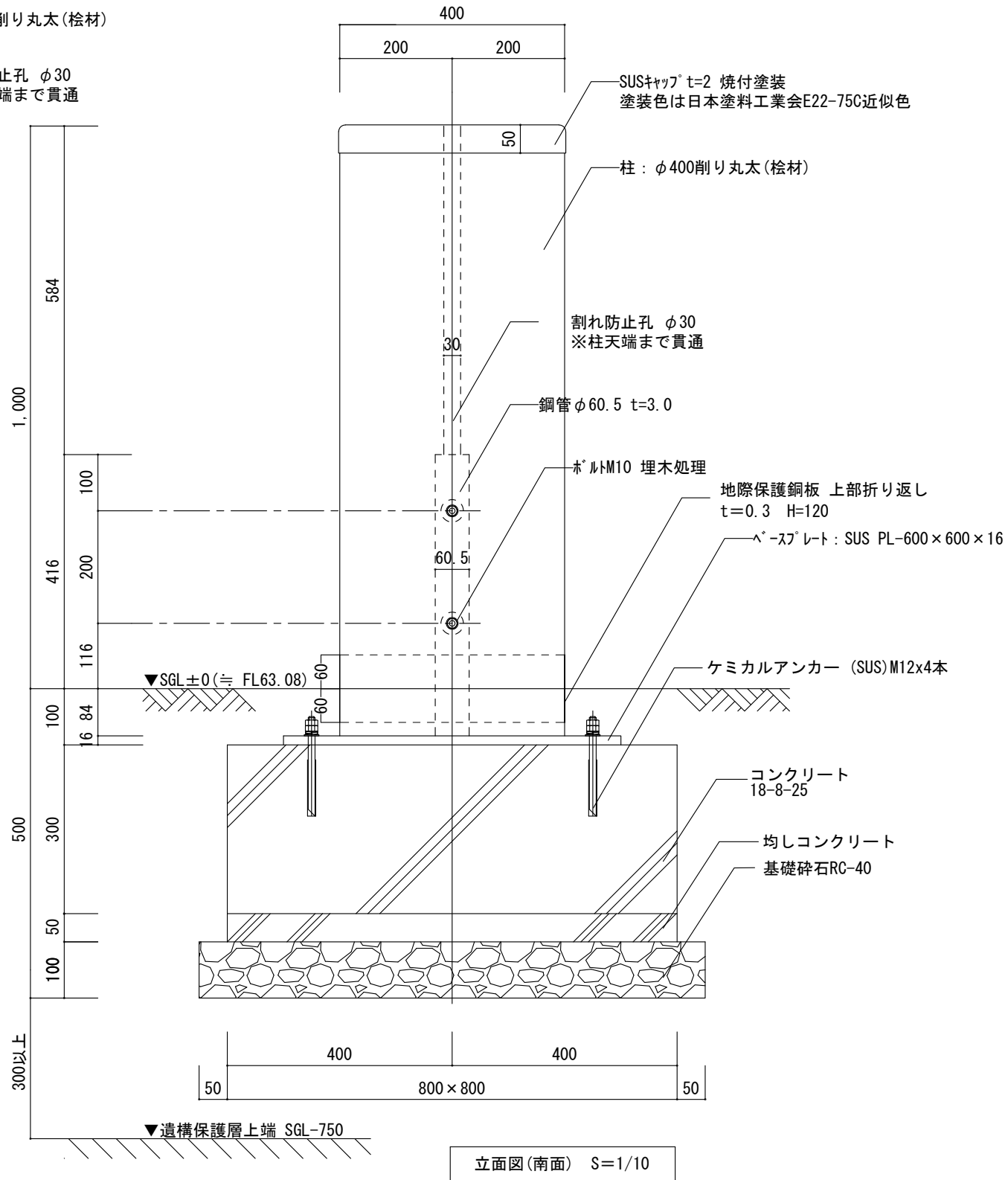
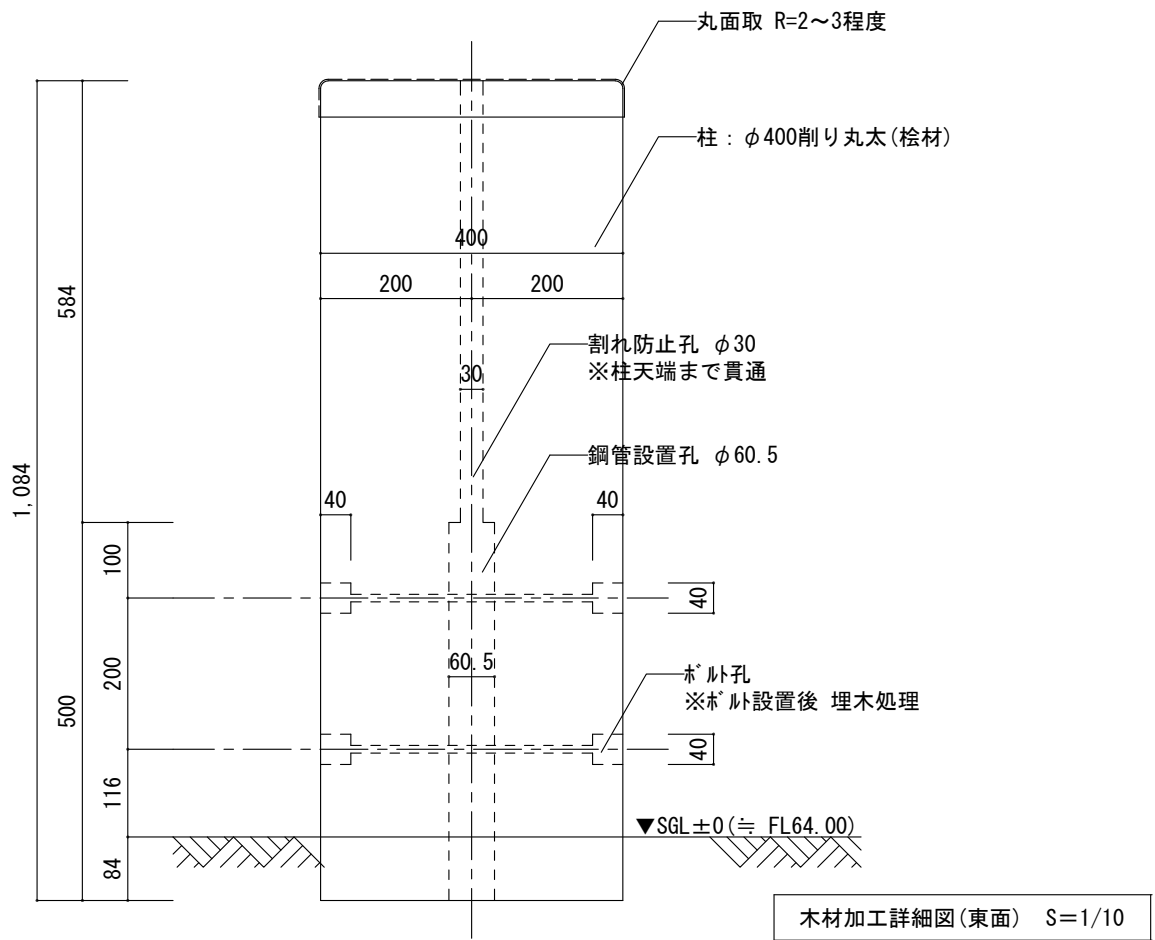
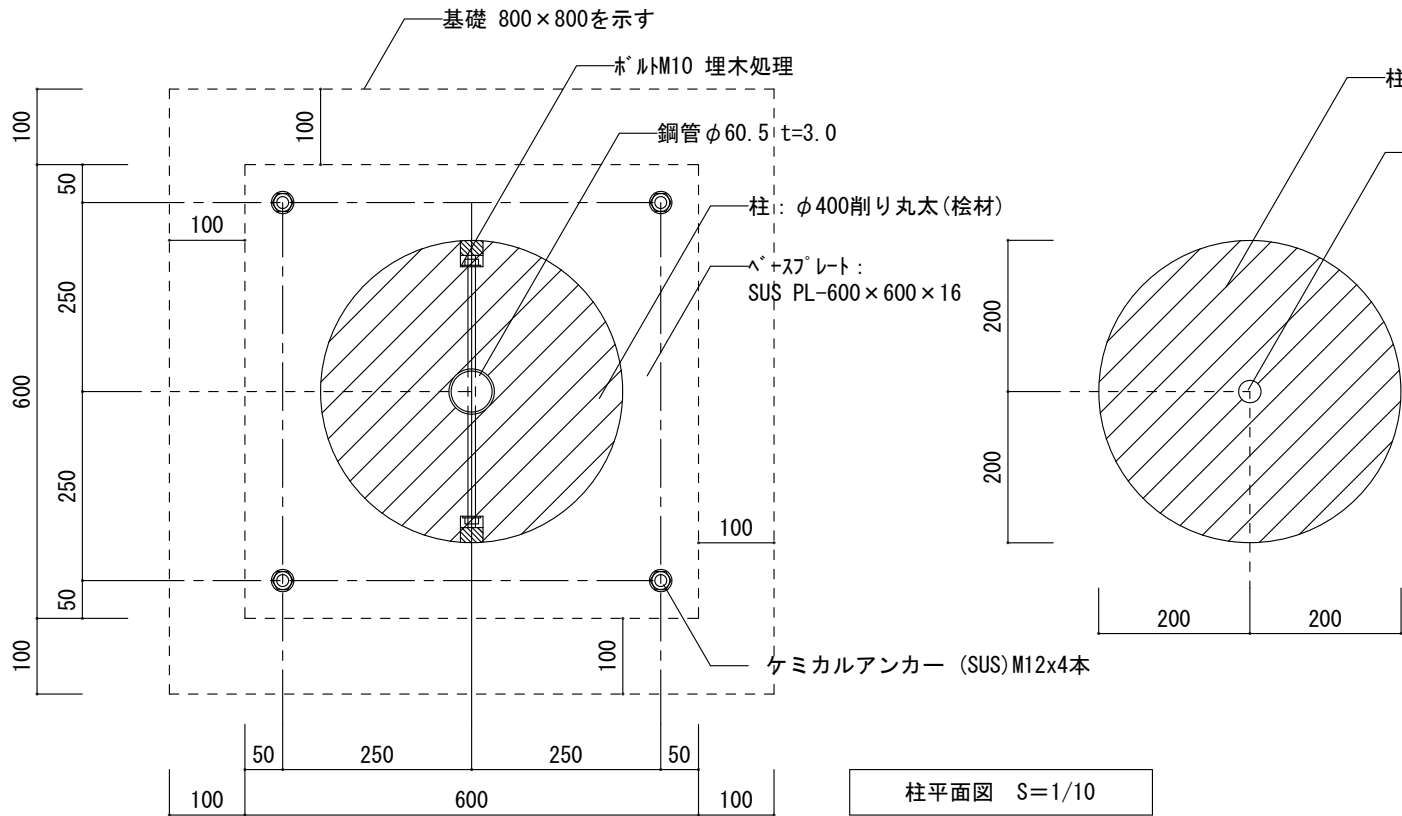
北方・推定中院地区整備イメージ図



プレキャスト擁壁詳細図 (S=1:30)







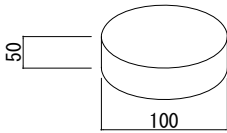
【特記事項】

- 木 材
- ・丸太材 : 桧材丸カンナ仕上げを行います。
 - ・防腐処理 : 酸化亜鉛含浸処理の上、自然養生後、蒸気加熱処理を行います。
 - ・塗装 : 木部浸透性着色塗装拭き取り仕上げを行います。
 - 上部(頭頂部)はSUSキャップ t=2 焼付指定色塗装仕上げを行います。
- 金 物
- ・ステンレスを使用します。

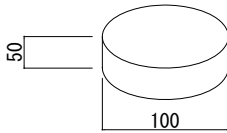
築地塀版築 色調確認サンプル製作 イメージ図（目的：顔料の添加量確認）

サンプル8個 総量
土（赤土2.2kg、黒土2.2kg）、真砂コン液56.6ml、セメント（白392.5g、普通392.5g）、バインダー1.6g

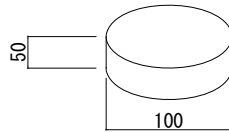
① 黄褐色土サンプル
赤土2.2kg、真砂コン液28.3ml、白セメント392.5g、バインダー0.8g、黄色顔料137.6g



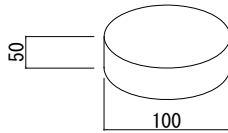
① -1 黄褐色土サンプル
赤土550g、真砂コン液7.1ml、
白セメント98.1g、バインダー0.2g、
黄色顔料13.8g（土：2.5%）



① -2 黄褐色土サンプル
赤土550g、真砂コン液7.1ml、
白セメント98.1g、バインダー0.2g、
黄色顔料27.5g（土：5%）



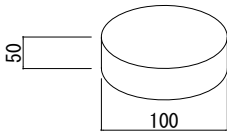
① -3 黄褐色土サンプル
赤土550g、真砂コン液7.1ml、
白セメント98.1g、バインダー0.2g、
黄色顔料41.3g（土：7.5%）



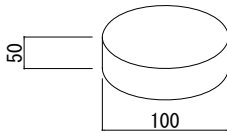
① -4 黄褐色土サンプル
赤土550g、真砂コン液7.1ml、
白セメント98.1g、バインダー0.2g、
黄色顔料55g（土：10%）

② 暗褐色土サンプル

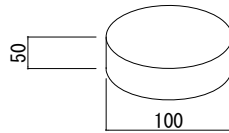
黒土2.2kg、真砂コン液28.3ml、普通セメント392.5g、バインダー0.8g、黒色顔料137.6g



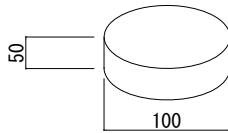
② -1 暗褐色土サンプル
黒土550g、真砂コン液7.1ml、
普通セメント98.1g、バインダー0.2g、
黒色顔料13.8g（土：2.5%）



② -2 暗褐色土サンプル
黒土550g、真砂コン液7.1ml、
普通セメント98.1g、バインダー0.2g、
黒色顔料27.5g（土：5%）



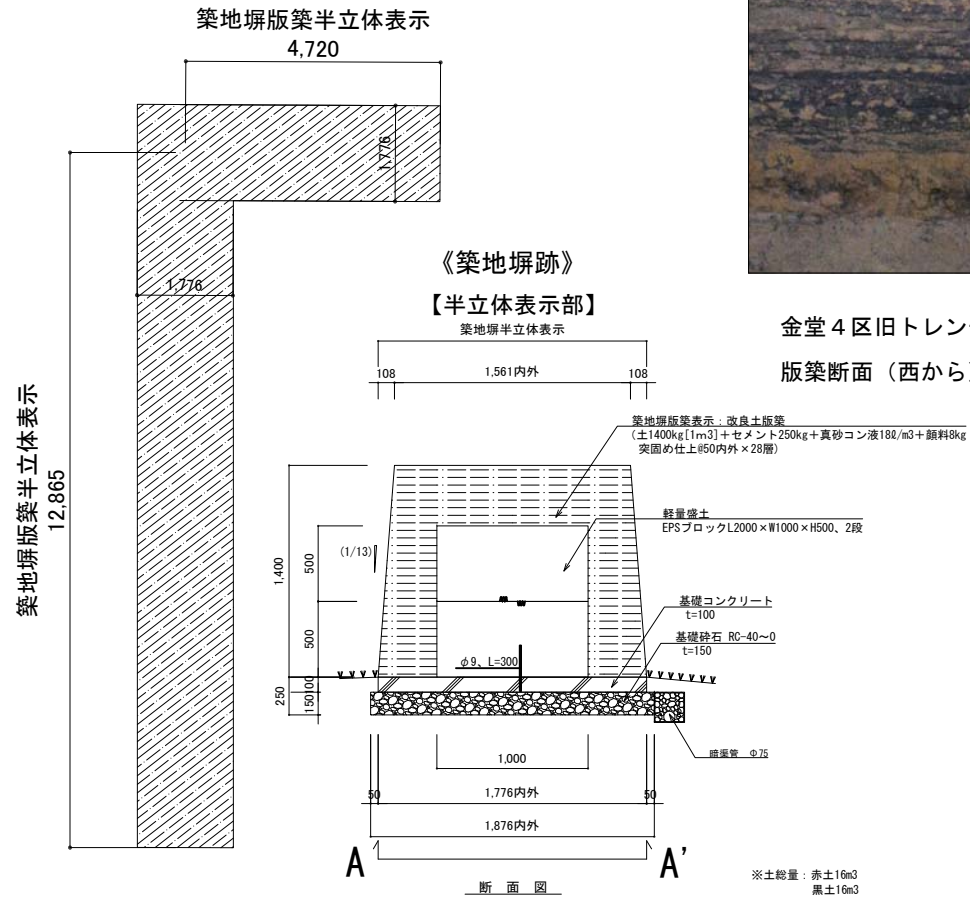
② -3 暗褐色土サンプル
黒土550g、真砂コン液7.1ml、
普通セメント98.1g、バインダー0.2g、
黒色顔料41.3g（土：7.5%）



② -4 暗褐色土サンプル
赤土550g、真砂コン液7.1ml、
普通セメント98.1g、バインダー0.2g、
黒色顔料55g（土：10%）

- ・次年度以降に実施予定の築地塀版築の色調確認のためのサンプル製作及び版築試験施工を実施する。
- ・サンプルの湿潤状態及び乾燥状態を確認後添加量を決定する。

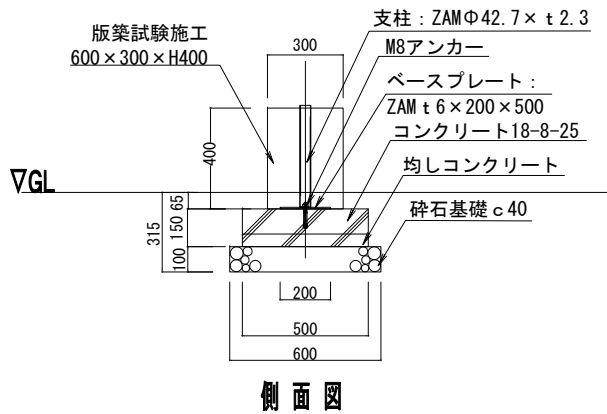
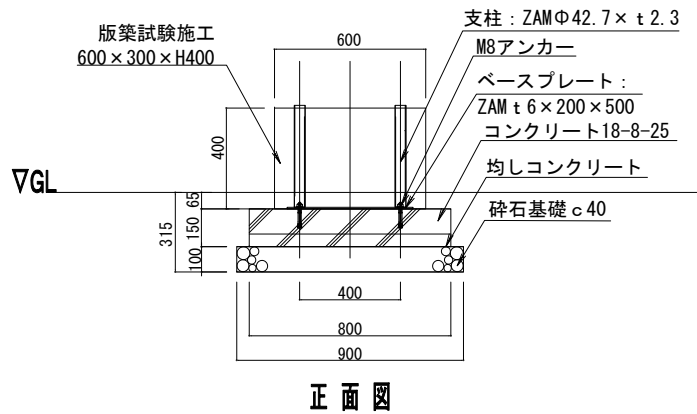
【参考】築地塀版築 別年度工事施工予定寸法及び写真



築地塀版築 試験施工 詳細図（目的：施工性、版築ライン、仕上がりの確認）（S=1：30）

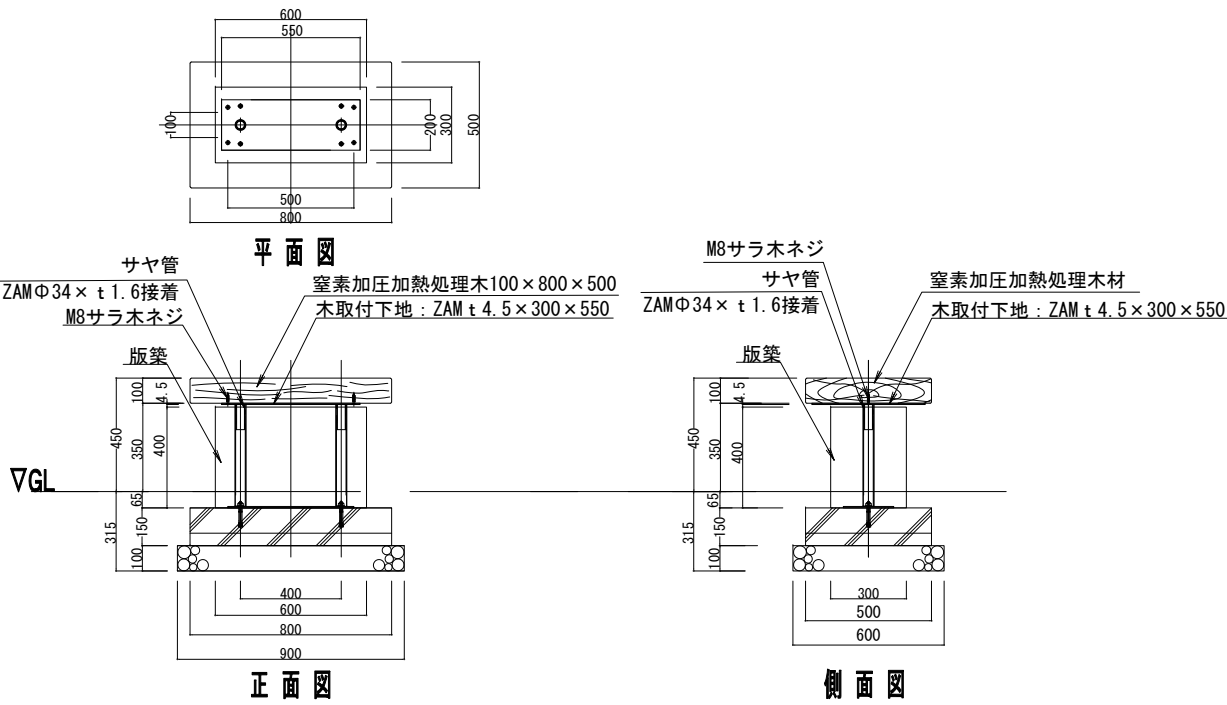
供試体2基（W300×L600×H400）総量
土（赤土100.8kg、黒土100.8kg）、真砂コン液2.6l、セメント（白18kg、普通18kg）、バインダー72g、顔料（黄色2.52～10.08kg、黒色2.52～10.08kg）

① 黄褐色土50mm程度、②暗褐色土50mm程度の互層、H400程度

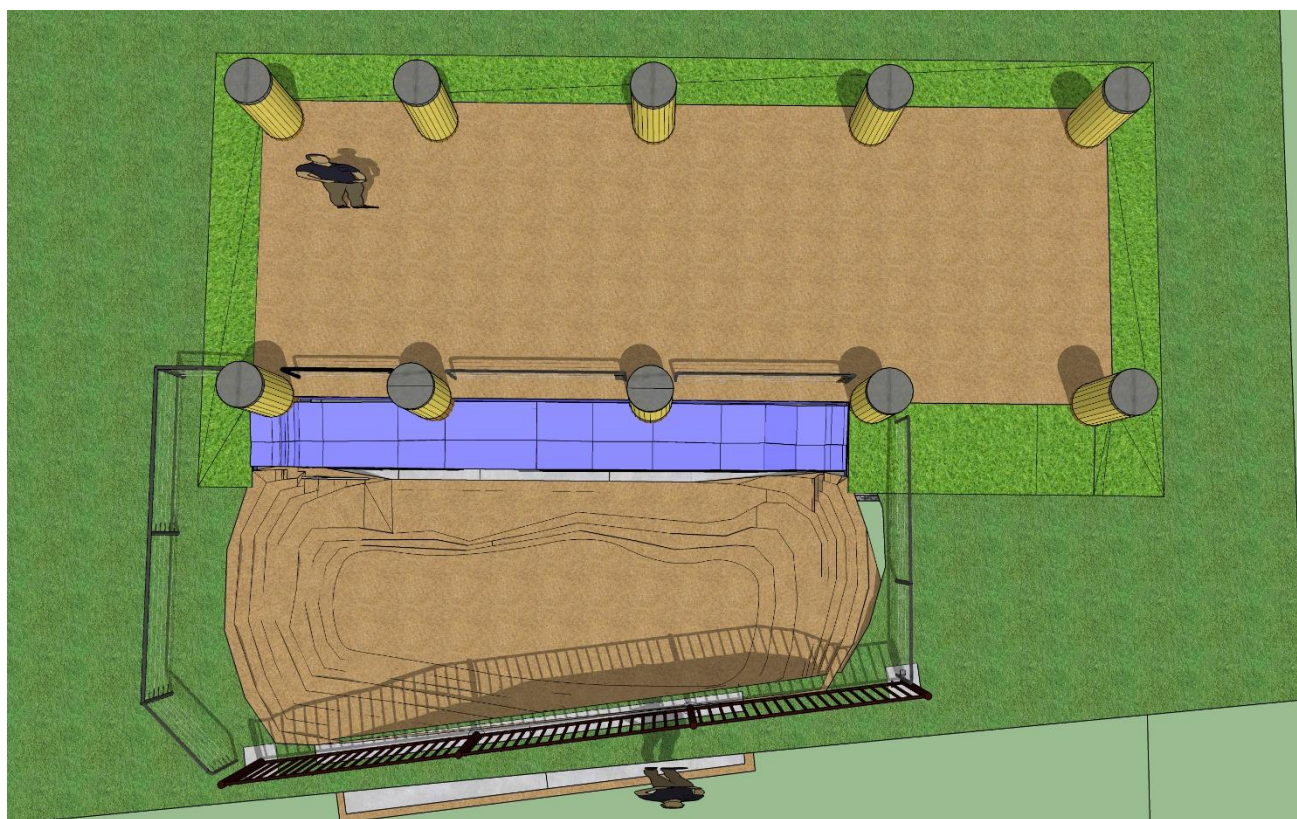


- ・版築試験施工は、顔料の添加量決定後実施する。
- ・版築試験施工は、砕石基礎、コンクリート基礎、座面設置のための支柱までを取付後実施する。
- ・互層の版築ラインは不均一な仕上げとし、学芸員立会のもと慎重に施行すること。
- ・真砂コン液、バインダー、顔料は、近畿壁材工業㈱ 同等品以上を使用すること。

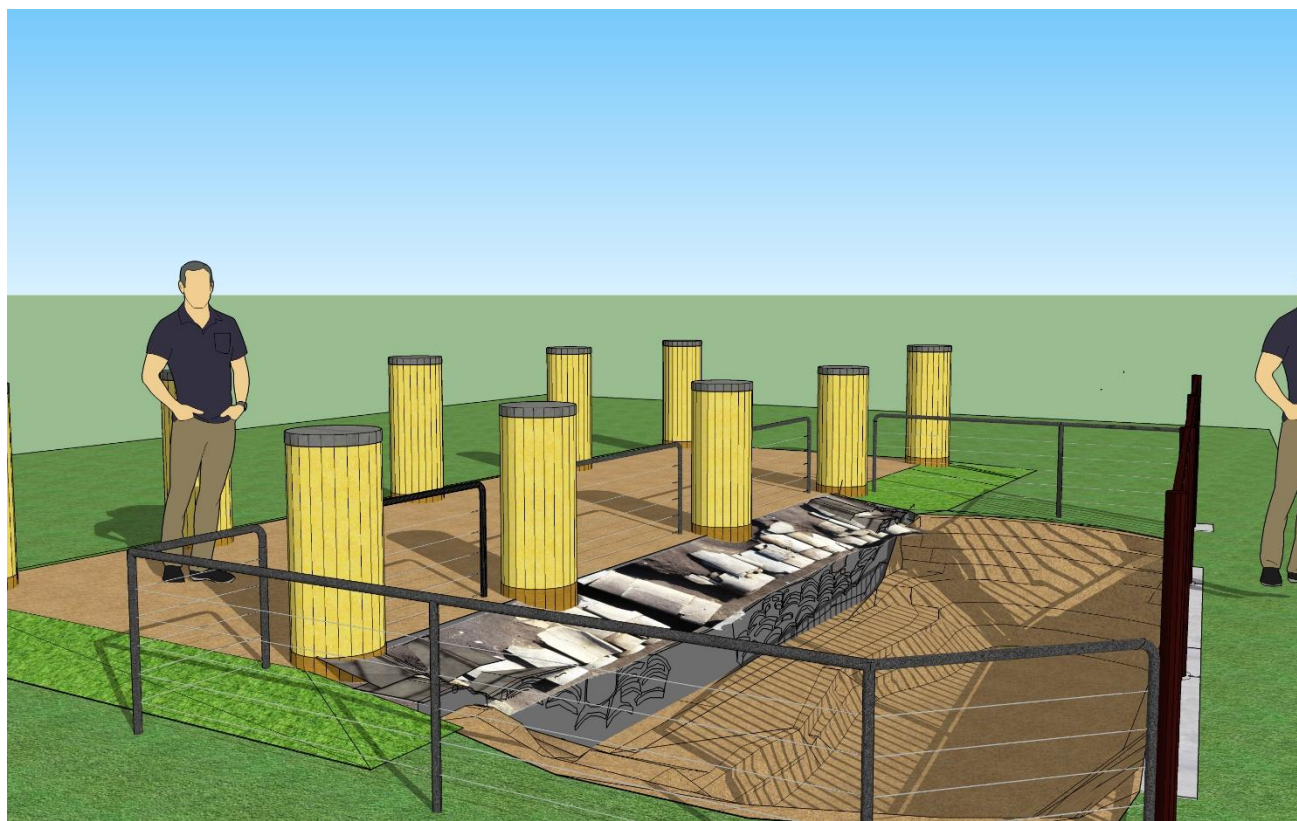
版築ベンチ（試験施工版築の転用） 詳細図（S=1：30）



- ・版築ベンチは、砕石基礎、コンクリート基礎、支柱までを取付後版築試験施工を実施し、その後、サヤ管を取り付けた天板を設置すること。



SB39 掘立柱建物跡復元表示 平面イメージ図



SB39 掘立柱建物跡復元表示 パースイメージ（北西から見学）



平面図 (3D測量)



正面図 (3D測量)



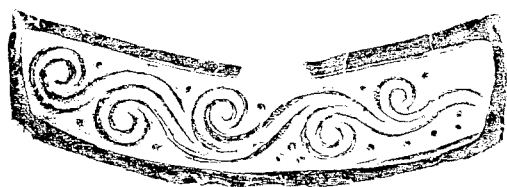
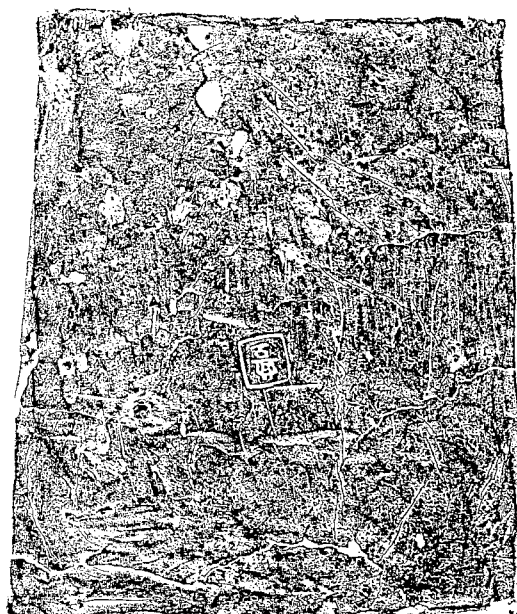
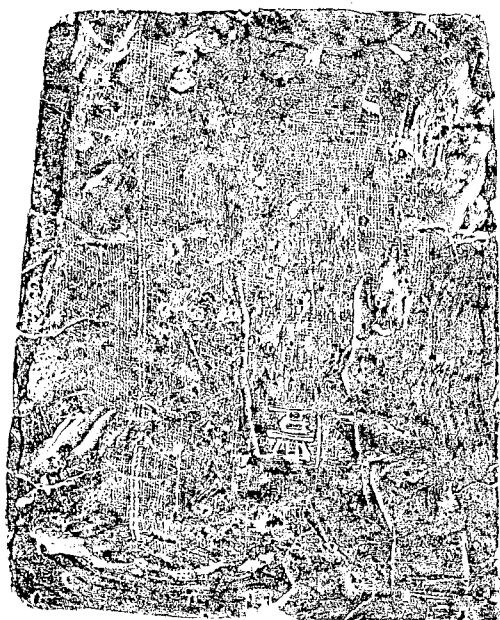
S52 に抜き取られた宇瓦

昭和 52 年 MK28 調査 瓦積遺構写真（西から）

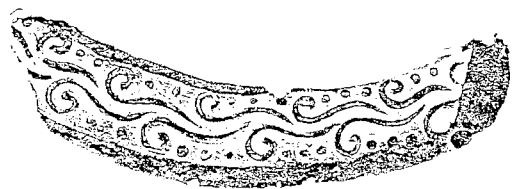
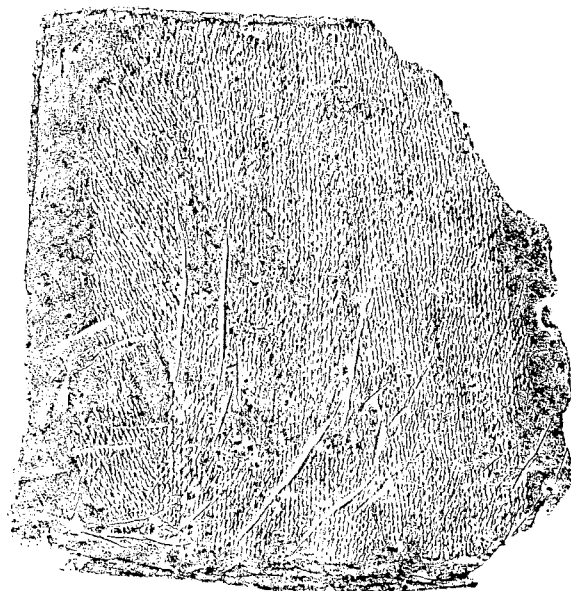
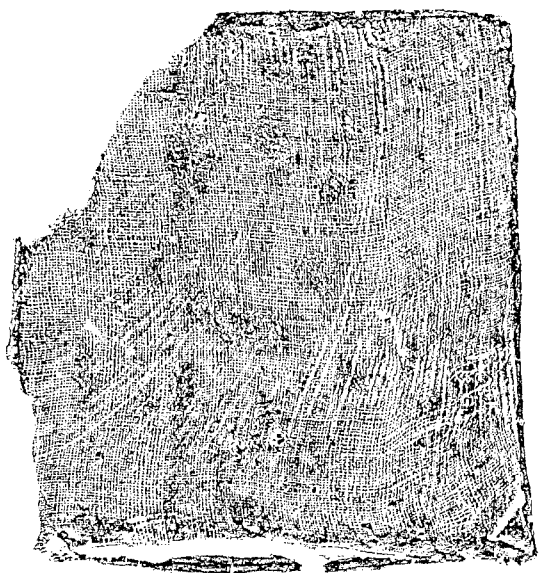
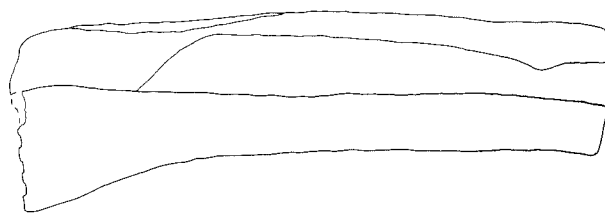


R2 の 3 D 測量時は土が
補填されていた

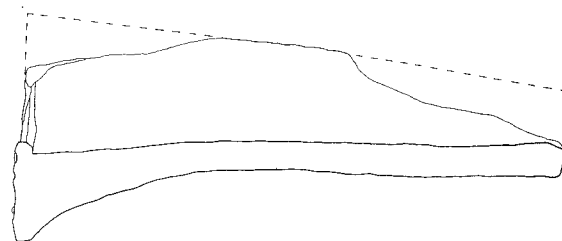
令和 2 年 MK754 調査 瓦積遺構写真（西から）



1



2



0 10 20cm

図面 7 第28次調査 SB39掘立柱建物跡出土遺物

新もとまちプラザ建設に伴う発掘調査について

概 要

現在、七重塔跡の南東にあるもとまちプラザ（もとまち地域センター）について、令和 10 年度中に、府中街道沿いのストックヤード・し尿処理施設跡地への移転を予定している。

移転予定地は、僧寺と尼寺の中間地点に位置し、過去の調査で関連遺構の存在が確認されていることから、建設工事で遺構が滅失してしまう範囲について、令和 8 年度中に発掘調査を実施し記録保存を行う。



武蔵国分寺跡伽藍配置図



新もとまちプラザ建設予定地と周辺の検出遺構